



水性 スーパーコート

高性能シリコンアクリル樹脂塗料

超多用途

屋内外の
木・鉄部
サイディング
モルタル
コンクリート壁・かわら
トタン・プラスチック(一部を除く)など

超耐久
2倍長もち

光沢保持率当社

- シリコン架橋システム
- フッ素樹脂配合
- 紫外線劣化防止剤配合 (HALS)
- 自動車用高耐候性 二酸化チタン使用 (白系塗料)

酸性雨・排気ガス
塩害に強い

1.6L

標準塗り面積

一般色(1回塗り)
11~15㎡
タタミ6~9枚分

銀黒(2回塗り)
6.1~7.3㎡
タタミ3.8~4.5枚分

乾燥時間

夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

塗り重ね時間の目安

夏期/2時間以上
冬期/6時間以上



商品名	水性スーパーコート	品名	合成樹脂塗料(水系)
成分	合成樹脂(シリコンアクリル・フッ素)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、防カビ剤、サビドメ剤、水		

特長
●特殊フッ素樹脂、シリコンアクリル樹脂のシリコン架橋システム及び紫外線劣化防止剤(HALS)の相乗効果により、汚れにくく、耐久性が格段に優れた高性能塗料です。●白系塗料には自動車用にも使用されている高耐候性二酸化チタンを使用しています。●酸性雨や酸性雪・排気ガス・塩害に強い塗料です。●いやな臭いのしない無臭タイプで、1回塗りでも仕上がります。(銀黒は2回塗り)●サビドメ剤、カビドメ剤を配合していますので、サビやカビの発生を防ぎます。●厚塗りしてもタレにくく、たいへん塗りやすい塗料です。●ツヤあり色はエナメル調の美しいツヤに、ツヤ消し色は落ち着いたツヤ消しに仕上がります。

用途
●フェンス・門扉・鉄柵・看板・おもちゃなどの鉄部、鉄製品
●カラーベスト・スレート瓦・セメント瓦・トタン屋根・タンベリ
●コンクリート・ブロック・各種サイディングなどの外壁やへい
●ドア・雨戸・羽目板・板べい・ガーデン用品など屋内外の木部や家具・木工品などの木製品
●台所・居間などのしっくい・モルタル・コンクリート壁・板壁
●発泡スチロール・アクリル・硬質塩ビのプラスチック面(他のプラスチック面には使用できません)
いぶし瓦・釉薬瓦・モニエル瓦・日本瓦・素焼き瓦、カベ紙、絶えず水がかかったり、水につかる場所やいつも湿っているところ、また床面、テーブル・カウンターの天面には適しません。

塗装方法
①●はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビトリ剤で、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
●壁にあいた穴などは、あらかじめパテなどで補修しておきます。
●塗料がついて困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおきます。
②●塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、右の下地処理の注意にいたがって下地処理を行います。
③●フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
●塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
●夏期、塗装面が高湿となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合はさらに少しうすつづめて調整します。
④●コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。広い面積の部分はコデバケ・ローラー・バケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることが出来ます。
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
⑤●塗装後1日以上、充分に乾燥させます。不十分な場合、水がかかったり、雨や結露によって塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法
塗料が乾かないうちに、水が濁って下さい。
①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしていないように注意して下さい。
②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
③残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

保管上の注意
①表示の用途以外には使用しないで下さい。②体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。④塗装中・乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑤塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うすめすぎたり、うすく塗りすぎると、1回塗りでは仕上がらないことがあります。⑨特殊なサイディング、カラーベスト、コーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。⑩コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなることがあります。⑪塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑫塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑬瓦の重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキやカッターナイフなどで塗膜を縁切りして下さい。⑭高温になると塗膜が軟化する傾向があります。また塗膜と塗膜・軟質塩ビシート・ビニールレザー等が強い力で重なりあうと、くっつくことがあります。⑮容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。⑯やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑰容器を落させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意
●塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。
①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。②鉄部に直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。③旧塗膜を触って粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗るときは、必ずアサヒベン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。④新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ずアサヒベン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。⑤カラーベストや瓦屋根に塗る場合は、必ずアサヒベン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。⑥トタン屋根に塗る場合は、サビやハガレがかった旧塗膜を落とし、トタンの素地が出ていところは本品をひろい塗り、乾燥後全体を本品で塗って下さい。(サビドメ塗料は下塗りしないで下さい)

取扱い上の注意
①表示の用途以外には使用しないで下さい。②体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。④塗装中・乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑤塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うすめすぎたり、うすく塗りすぎると、1回塗りでは仕上がらないことがあります。⑨特殊なサイディング、カラーベスト、コーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。⑩コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなることがあります。⑪塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑫塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑬瓦の重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキやカッターナイフなどで塗膜を縁切りして下さい。⑭高温になると塗膜が軟化する傾向があります。また塗膜と塗膜・軟質塩ビシート・ビニールレザー等が強い力で重なりあうと、くっつくことがあります。⑮容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。⑯やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑰容器を落させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意
●塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。
①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。②鉄部に直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。③旧塗膜を触って粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗るときは、必ずアサヒベン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。④新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ずアサヒベン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。⑤カラーベストや瓦屋根に塗る場合は、必ずアサヒベン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。⑥トタン屋根に塗る場合は、サビやハガレがかった旧塗膜を落とし、トタンの素地が出ていところは本品をひろい塗り、乾燥後全体を本品で塗って下さい。(サビドメ塗料は下塗りしないで下さい)

危険
●遺伝性疾患のおそれ
●臓器の障害のおそれ
●水生生物に非常に強い毒性

救急処置
●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んだら気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

●この容器は、水を加えてかき混ぜられるよう、多少大きめにつくってあります。中身の塗料は正確な量目はいつていません。表示してある色、ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なることがあります。

(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02123
本会承認済 F☆☆☆☆
適合先 http://www.toryo.or.jp
※簡易基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、室内用に無害範囲に当てられます。

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

注意書きをよく読んでから使用して下さい